

1 インフォメーション

今年の米軍機のデモ飛行も中止へ 年末年始の飛行自粛要請の席上で明らかに

土屋市長は、昨年12月28日、米海軍横須賀基地で在日米海軍司令官ロバート・C・チャプリン少将と会談し、「年末年始は日本人にとって、米国のクリスマスに匹敵するとてもたいせつなものである」として、年末年始の航空機の飛行を自粛するよう要請しました。これに対して、同司令

官は「できる限り静かなときを過ごせるようにしたい」と回答しました。この結果、1月1・2日は厚木基地滑走路北1段地点で、ジェット機による100機以上の激しい騒音は皆無となり、昨年に引き続いて比較的静かな年末年始となりました。

また、土屋市長は会談の席上で、厚木基地開放日におけるデモンストレーションフライト（展示飛行）の廃止についても要請。同司令官は「デモンストレーションフライトは必要不可欠の訓練ではなく、どうしても行わなければならないものではない。地元の意向をじゅうぶん承知しているので、来年（平成14年）は行わないつもりである」と今年のデモンストレーションフライトの中止を初めて明らかにすると同時に、将来にわたっても実施しない方向を示唆しました。

更に、土屋市長はNLP（夜間連続離着陸訓練）の硫黄島への全面移転についても強く要請すると、同司令官は「米海軍としても、暫定施設である硫黄島ですべて行うように今後も最大限努力していくとともに、本格的な訓練施設の確保を日本政府



に強く働きかけていきたい」と回答しました。

なお、同12月20日、市議会も米海軍厚木航空施設司令官に年末年始の航空機の飛行中止を要請しました。

市は今後も、NLP実施の動向に注視していくとともに、基地にかかわるさまざまな問題に対して全力で取り組んでいきます。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当 ☎(260)5310、kichiへ。なお、騒音に関する苦情は、市のホームページからお送りください。

ICカードを2月下旬から配付

会場に引換証を持参

前号の「広報やまと」でご紹介したように、4月からICカードが本格的に稼働します。2月下旬から4月にかけて、このICカードを学習センターなど市内7カ所の会場で配付します。今回配付するのは、昨年8月の第1次利用希望調査で申請した約75,000人のかたです。

2月中旬以降に、ICカードを受け取る日時、会場などを記載した大和市民カード発行決定通知書兼引換証を世帯主あてに順次郵送しますので、内容をよく確認してください。

なお、同証で指定された日時・会場で受け取ることができない場合は、4月15日以降に、市役所1階ICカードセンターで受け取るようになりますので、ご注意ください。

ICカードの配付

とき・ところ ▼ 郵送する「大和市民カード発行決定通知書兼引換証」に記載されています。指定日時・会場以外では受領できません。

持ち物 ▼ 大和市民カード発行決定通知書兼引換証、運転免許証や健康保険証、市民証など本人を証明できるもの（代理人の場合は、代理人本人を証明できるもの）。

問い合わせは、市役所情報政策課情報政策担当 ☎(260)5365、info@city.yamato.lg.jp。

市表彰条例に基づく表彰

市制施行記念日の2月1日、市表彰条例に基づいて、各分野で市政発展のために尽力された24人のかたが表彰されました。

一般表彰 大宮啓子(上和田)、小林繁次(福田)、吉利正勝(中央林間)、家本武大(大和東)、鈴木勝也(南林間)、大澤喜代子(西鶴間)、篠田マリ子(西鶴間)、新田泰男(上草柳)、柏木恵美子(上和田)、島晃(下和田)、澁谷貞子(柳橋)、雪下明子(福田)、神崎真

吾(中央林間)、山口勝男(中央)、鈴木茂(上和田)、山口幸雄(深見西)、田尻下利夫(町田市)、小島邦重(下和田)、林政和(林間)、佐藤利雄(下鶴間)、神崎彰利(相模原市)、金子皓彦(つきみ野)、奥原美帆(福田)

感謝状 中村ヤイ子(中央)

問い合わせは、市役所秘書広報課 書担当 ☎(260)5307、kouchouへ。

男女共同参画社会の実現に向けて やまと男女共同参画プラン「第一次実施計画」を策定

市は、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進するため、やまと男女共同参画プラン「第一次実施計画」を策定しました。この計画は、平成12年12月に策定した同プランの施策体系に基づいて、今後取り組んでいく具体的な事業を定めたもので、計画期間は平成13～17年度までの5年間です。

同計画は、市職員で構成した「実施計画策定委員会」が案をまとめ、庁内組織の「男女共同参画行政推進会議」、更に学識経験者や公募の市民などで構成する「男女共同参画懇話会」に諮り策定しました。

計画内容は、性の尊重と重要性の浸透、男女平等を推進する教育の展開、啓発活動の推進、自立した生き方への対応、ともに働くための環境整備、総合的子育て支

援、福祉の充実、生きがいと健康づくりの推進、市政への参画、地域活動への参画、国際化への対応、の11項目を課題として、施策の方向を定め、それを具体化する事業と所管課、実施年度を掲げています。

市は、職員一人ひとりの男女共同参画意識を向上させ、市民の皆さんと協働して、同計画を積極的に実施していきます。

なお、計画書は、市役所情報公開コーナー、各学習センター、各コミセン、図書館、青少年センターで閲覧できるほか、市のホームページでもご覧になれます。

問い合わせは、市役所企画政策課 女性文化担当 ☎(260)5317、seisakuへ。

「大和市観光協会」のホームページを開設

大和市観光協会(会長:土屋侯保大和市長)は、このほど市内のイベントや施設、特産品などの観光情報を掲載したホームページを開設しました。

同協会は、昨年7月に商工会議所や商店会など市内57の法人や団体が参加して発足(現在は、大和市を除いて60団体)。市民の皆さんが大和に親しみと愛着を持てるような“ふるさと意識”の醸成や、多くの人が訪れるにぎわいのある街づくりを目指して、同協会事務局の職員が手作りで公式ホームページの開設を進めてきたものです。

トップページにはトピックコーナーを設けて、四季折々の観光情報などを随時紹介していくほか、「年間イベントスケジュール」や「やまとウオーキングコース」、「やまとの特産品」など9項目(ページ)を用意しました。いずれのページも写真や地図、イラストなどをたくさん使用して、やまとの魅力が一目で分かる内容となっています。

なお、同協会では今後も、バスルートや駐車場の案内、花情報などを盛り込み、ホームページの充実に努めていきます。

大和市観光協会ホームページ

<http://www.city.yamato.kanagawa.jp/kankou/>

問い合わせは、大和市観光協会事務局(市役所産業振興課内) ☎(260)5134、kankouへ。

